

木野彩子

札幌生まれ。横浜ソロ×デュオコンペティション2003で
横浜市文化振興財団賞を受賞後、
2004年文化庁在外研修で渡仏、
ダンサー、振付家としてイギリスで活動したのち、
2016年より鳥取大学地域学部附属芸術文化センターに所属。
現在、舞踊の霊性について調査研究を行いながら、
教職と舞踊家の二足のわらじを履く。
2023年12月レクチャーパフォーマンス『踊る?宇宙の旅』
(高知みらい科学館)2024年1月『静』(とりぎん文化会館)公演予定。
生きることが全てダンスとなりつつある最近。

鑑賞にあたって

ちりめん祭りにあわせ、京丹後の羽衣伝説と白鳥伝説を
もとにしたスペシャルコラボレーション作品。音楽(山崎昭典)と
ダンス(木野彩子)による即興の駆け引きをお楽しみください。

山崎昭典

神戸市生まれ、京丹后市網野町在住。日本ギターコンクールの
審査員を務めたり、演劇の楽曲を制作したり、クラシック音楽から
即興音楽までシーンに合わせての音楽/演奏は各地で好評を
得ている。約20年前に丹後に移住したばかりの時『羽衣伝説』に
興味があり、所縁の神社などを訪れ、丹後の『羽衣伝説』は
他の地域とは違う結末である事を知った。
その伝説は“丹後ちりめん”として色濃く今も受け継がれていて
悠久の時を感じている。

京丹後ちりめん祭り

ちりめん祭りは歴史的、文化的にも重要なコンテンツです。
丹後ちりめんは長い間、地域の産業と生活を支えて来た地場産業です。
丹後ちりめんが最盛期に始まった祭り、70回も続く春の一大イベント
でした。現在では生産量も落ち込み地域の基幹産業ではありませんが多くの
産業遺産を残してくれ現在では「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」
の構成文化財にもなり、先人が創り上げた過去と現在を繋ぐ文化イベントです。

「丹後の伝承」

京丹后市網野町の「網野」の由来は白鳥が水の江に多く飛来するので網を張ったのが語源になったそうです。
またこの丹後には天女の羽衣伝説があります。

天女が舞い降りてきて比治山の美しい池で水浴びをしていたら、それを見ていた三右衛門が天女の羽衣を隠してしまいました。

天に帰れなくなった天女は三右衛門と一緒に暮らして三人の美しい女子をもうけました。

その間、天女は農業、養蚕、機織りの業を広めたおかげで里は豊かになりました。

そのうち天女は天が恋しくなり、隠してあった羽衣を見つけて天に帰りました。

その時、天女と三右衛門は年に一回七月七日に会う約束をしました

一年に一度しか会えないのは納得できず、三右衛門は夕顔の蔓を登って天上に上がり、天女に会うことができました。

しかし天女と暮らしているうちに天の川が洪水になり、三右衛門が下界に落ちてしまいました。

そして七月七日の夜は天女がきらめく星となって三右衛門と三人の娘に会いにやってくるそうです。

天

と

地

天と地
の
間
に
は
異
星
人
が
居
る

場所 アミティ丹後二階 日時 十一月三日午後二時三十分開演

天と地の壮大な空間は昔も今もあります。
当時は宇宙という概念はありませんが、
今と同じ宇宙と重なります。
まさしく天女は宇宙から来た異星人です。
そんなロマンのある地ならではの
「身体と羽衣」をテーマにした舞です。

ちりめん祭りスペシャルイベント

即効と即興の
コラボレーション



■12:00～開場準備 14:30～木野彩子 アートパフォーマンス 山崎昭典 音楽 15:00～キモノファッションショー 17:30～キモノディスコ 受付 18:00～20:30 キモノディスコ